

令和2年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告

<実績内容>

1. 花による校内環境整備（7月30日）



- ・ボランティア班でプランターに花の苗を植え、生徒昇降口と職員玄関を飾った。
- ・玄関に花を置くことで華やかになり、また花を見ることで心も安らぎ、学校生活に潤いをもたらした。
- ・ボランティア班が交代で毎日水やりをし、責任感を持ってプランターの管理を行った。

2. 体育館床ワックスがけ（11月）



- ・自分たちでいつも使用している体育館にワックスを掛けることにより、練習前後の普段のモップ掛けも丁寧に行っている。管理してくれる側がいることに気付けるようになった。
- ・ワックスを掛けることにより、滑らずストップが効くことよって、個々のプレーも安定して思い切ってプレーできている。
- ・ワックス掛けした後のモップの洗濯も行っている。

3. テニスコート土入れ・塩カル散布整備（12月15日）



- ・休校時期を含む上半期で荒れたコートの凹凸を購入した土で補修し均した。
- ・その後塩化カルシウムを撒き保水性を高め、周辺住宅への土の吹き上げを防ぎ、クレーコートの引き締めを図った。
- ・作業そのものを楽しみ積極的な取り組みが見られた。作業中も様々な話題が上り、生徒同士の交流の場としても一役買った。また、生徒たちは適宜周囲を見回し、人手が足りないところや作業の進み具合が芳しくないところに積極的に手を貸すなど、理想的な協働作業となった。
- ・コートを使う生徒自らによる修繕作業は、学校のコートは自分たちが作ったコートであるという意識を持たせることになり、練習での使用だけでなく使用前後の整備にも真剣みが増した。

4. 岩村田高校第二グラウンド整備（11月4日）



毎日の使用で劣化したグラウンド表面が整地され、より安全な環境で活動できるようになった。そのため生徒もイレギュラーバウンド等の心配が減り、思い切ったプレーができるようになった。また、自らの手で自分たちの活動場所の環境を整備することにより、活動環境を守っていくことの大切さを感じ、日頃の環境整備の意識が向上した。